経営工学 (Industrial Engineering)									
専攻	選択・必修	開設時期	単位数	授業形態	担当				
教養	選択	2 年後	2	講義	岩本英久(呉高専) 挾間雅義(宇部高専)				

【授業の概要】

企業という経営組織の概念をはじめ、経営管理工学の歴史的背景や経営管理・経営計画、起業計画、販売管理について解説する。また、計量分析、スケジューリング、意思決定方法(待ち行列など)など企業経営に要する知識とテクニックについて紹介し、企業経営の具体像について説明する予定である。なお、本講義は、呉高専・宇部高専との共同教育課程として開講される。

【学修の進め方】

応用的な内容を扱うため、少し難しいと思うかもしれないが、わからない部分はまず、自分たちで調べ、次に教員に質問することで解決させておく必要がある。半期の中で講義とグループワーク形式により、他高専間の学生と交流し、コミュニケーションを取りながら、いろいろな視点で経営管理工学の内容を理解する。

取りながら、いろいろな視点で経営管理工学の内容を理解する。							
【授業の概要】	【授業項目】	【内容】					
1 🛭	連携教育に関するガイダンス と遠隔チーム編成	・授業の進め方について理解できる ・遠隔チーム編成が構築できる					
2 🛛	企業経営の基礎と起業計画お よび販売管理	・企業経営の基礎を理解し、起業・創業の基礎を理解できる ・ビジネスプラン作成方法を理解する ・市場調査、プロモーションミックス、AIDMA を理解できる					
3 回	販売管理ワークショップ	・広告に関するワークショップ(WS)を通じて、遠隔グループワーク を実践できる					
4 回	ビジネスプラン作成 WS 1ガ イダンス	・テーマを理解し、市場調査方法、原価計算手法、利益計画立案方法 を理解する					
5 🔟	ビジネスプラン作成 WS 2	・仮想商品の市場調査を実施できる ・原価を想定し、利益計画を立てることができる ・チームで役割分担し、チームワークができる					
6 回	ビジネスプラン作成 WS 2	・ビジネスプランを発表することができる ・ビジネスプランをレポートにまとめることができる					
7 🛽	中間試験	ここまでの内容で、試験をおこない、問題の解法を導くことができる					
8 回	スケジューリング手法 WS 1 ガイダンス	・スケジューリングに関して、基礎から復習し、演習問題が解けるよ うになる					
9 回	スケジューリング手法 WS2	・スケジューリングに関する演習問題を解き、やや複雑な内容の問題 を解くことができる					
10 回	スケジューリング手法 WS3	・プログラミングを用いて、スケジューリングモデルを作成すること ができる					
11 回	意思決定法(待ち行列理論) WS1 ガイダンス	・待ち行列に関する方法論を理解する					
12 回	意思決定法(待ち行列理論) WS2 ガイダンス	・待ち行列に関して、演習問題が解けるようになり、やや複雑内容の 問題を解くことができる					
13 回	意思決定法(待ち行列理論) WS3 ガイダンス	・プログラミングを用いて、待ち行列モデルを作成することができる					
14 回	意思決定法(待ち行列理論) WS4 ガイダンス	・プログラミングを用いて、やや複雑な待ち行列モデルを作成するこ とができる					
15 回	期末試験	8回~ 14 回の内容について試験をおこなう					
16 回	答案返却、解答解説	試験問題の解説を通じて、間違った箇所を確認し、理解することがで きる					
【到達目標】	ビジネスプランを作成で	・ きる、 企業組織の経営分析手法を活用できる					
【徳山高専学習	・教育目標】 A 1	【JABEE基準】 1(2)d-1,2.1(1)					
【評価法】	中間試験 40% + 期末試験 4	0% +レポート 20%					
【テキスト】 資料配付							

【関連科目】	産業論(専攻科1年生)、インターンシップ(専攻科1年生)、経営管理(専攻科1年生)							
【成績欄】	前期中間試験	前期末試験 【 】	前期成績 【 】	後期中間試験 【	後期末試験 【 】	学年末成績 【 】		